

R3年度 柳ヶ浦小 目標協働達成(3学期)

■学校の教育目標: 考え行動し、自他の「いのち」を大切にできる 柳っ子の育成

育成を目指す資質・能力: 言語能力、問題発見・解決能力						
計画(1月7日)						
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	※誰が、何を、どれくらいの頻度で		
空きて働く知識・技能の習得 未知の状態にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養 働き方改革の推進	自課 課題解決 学習 を 通 じ も て の 育 成 ○校内学力調査におけるD層の割合15%以下 ○単元末テストでのD層(平均60点未満)の割合10%以下 ○「チャイム席・学習準備・右側通行」が守れた児童85%以上(AB回答)	学 校 ○板書とノートの一体化を図り、新大分スタンダードを基本とした1時間完結型の授業を実施する。 ○低学力層の児童を中心とした学習支援の推進 ○学習・生活規律の徹底・継続・習慣化(みそあじ運動含む)	・子どもたちが自分の考えをもちやすく、学習意欲を高めることができるような「なぜ～だろうか」「～を使って説明できるか」等の追求課題の提示を行う。(A50%以上) ・授業の「まとめ」「振り返り」において、視点を与え、自分の考えを書いたり、発表したりする場面の設定を行う。(A50%以上)	・基礎学力の定着を図るため、個に応じた「チャレンジタイム」を実施する。(朝10分・週1回・AIDリル月1回以上)(A70%以上) ・算数の授業を中心に、授業初めに3分間程度の「復習タイム」を設け、既習事項の定着を図る。(A60%以上)		
					家 庭 ○家庭学習の定着	・保護者は、学年に応じた家庭学習時間を確保し確認する。 ※家庭学習の手引き活用 ※「にこにこカード」の取り組み実施。
					し 自 他 分 の 大 考 切 え に を し 、 広 げ 対 話 や 話 し の 合 意 を 通 ○単元末テストにおける「思考力・判断力・表現力」の観点での正答率を80%以上 ○「先生・ともだち・地域の方においさつができた」児童90%以上(AB回答)	学 校 ○自分の考えを伝え合うことができるような学習形態の工夫 ○「思考力・判断力・表現力」向上を目指した「新大分スタンダード」の徹底
	家 庭 ○家庭でのあいさつの推進	・保護者は、毎日進んで「おはよう」「おやすみ」等の気持ちのよいあいさつをする。 ※「にこにこカード」の取り組み実施。				
			地 域 ○あいさつと温かい声かけの推進	・地域の方は、毎日の登下校時に温かいあいさつをしたり見守りを行ったりする。		
	協 働 し 課 題 解 決 学 習 の 時 間 が 楽 し い と 感 じ る 児 童 80% 以 上 (A B 回 答 ○「縦割り掃除に最後まで取り組めた」「三冠戦に最後まで取り組めた」児童90%以上(AB回答) ○「自分たちの力で学校・家庭生活をよりよくするため、考え行動できた」児童85%以上(AB回答)	学 校 ○生活科・総合的な学習の時間を中心とした課題解決学習の実施 ○学校生活に関する取り組みの徹底・継続・習慣化(みそあじ運動含む) ○「自治の力」育成のための特別活動・縦割り活動の推進 ・縦割りもくもく掃除 ・三冠戦(運動会・リレー大会・縄跳び大会) ※キーワード1: 考えて行動する(考動) ※キーワード2: 心のアンテナ・プレーキ				
			家 庭 ○長洲ブロック「家庭の日」の取り組み推進 ※「親子の会話」「いっしょに仕事」「親子読書」「ノーマディアデー」等	・保護者は、子どもと決めた「長洲ブロック「家庭の日」」の取り組みを週1回以上行う。 ※「にこにこカード」の取り組み実施。		
					地 域 ○学習支援活動の充実とCSの機能を活用した取組	・学校や学年のニーズに応じたボランティアを招聘する
			退 庁 時 刻 の 徹 底 ○最終退庁予定時刻を17時30分とし、その前後30分を目安に退庁する教職員の割合85%以上	学 校 ○会議等の効率的運営 ○業務の優先順位・劣後順位の意識		
	家 庭 ○登校・下校時の声かけ・見守り・パトロールの実施	・保護者・地域の方は、警察等と連携を行い、積極的に登校・下校時の声かけ、見守り、パトロールを行う。				